

からさわやまじょうあと

唐沢山城跡が国の指定史跡に



唐沢山城跡PRキャラクター
からまる・からちゃん

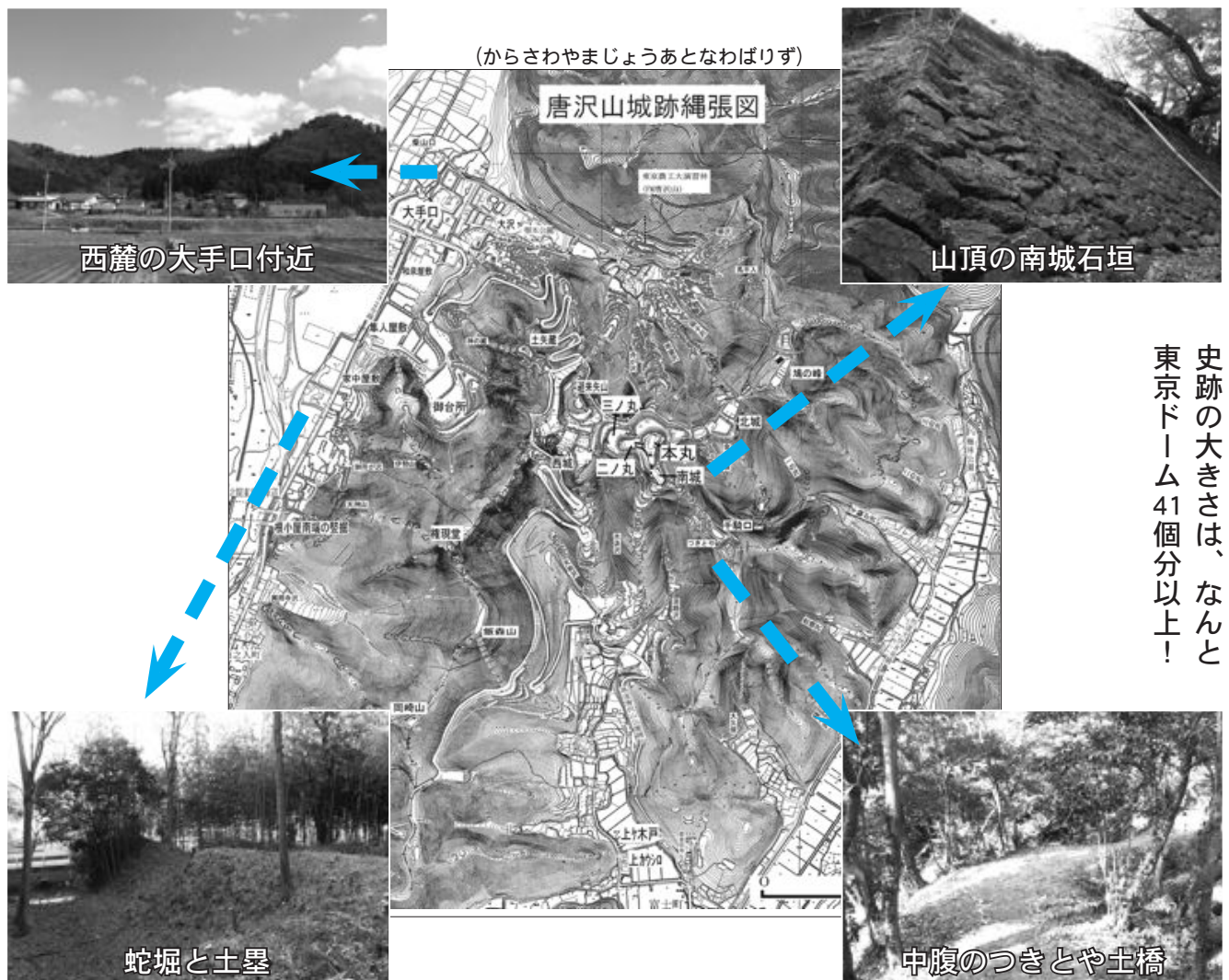
市教育委員会では、東日本で希少な近世初頭の高石垣を有する唐沢山城跡を未来に伝えるため、国指定史跡化に向けた取り組みを実施してきました。そしてこの度、国の文化審議会から文部科学大臣へ答申がされた結果、本城の貴重性が認められ、史跡化が実現する見込みになりました。関東最大級となる巨大で魅力あふれる史跡の誕生です。

※これまで唐沢山城跡の読み方は「からさわやまじょうせき」としてきましたが、国指定に際して史跡の読み方は「からさわやまじょうあと」になりました

山頂部の高石垣や山麓の居館群が良好に残る

本城は山頂から山麓まで城郭遺構が残され、194haを超える広大な面積を有しています。本丸南側には高さ8mを超える高石垣が良好な状態でたたずんでいます。同様の石垣は南城などにも残っています。これらの石垣は豊臣方の技術導入によるもので、関東では極めて珍しいものです。中腹にも中世の特色を有した出入口施設の遺構や土橋などが複数残っています。

西麓の根小屋は南北約1km以上続き、近年まで根小屋南端の塹堀とされる大規模な塹堀が残されていました。現在でも城主の下屋敷や家臣団屋敷と考えられる複数の区画のほか、大規模な堀や土塁、切岸も残っています。

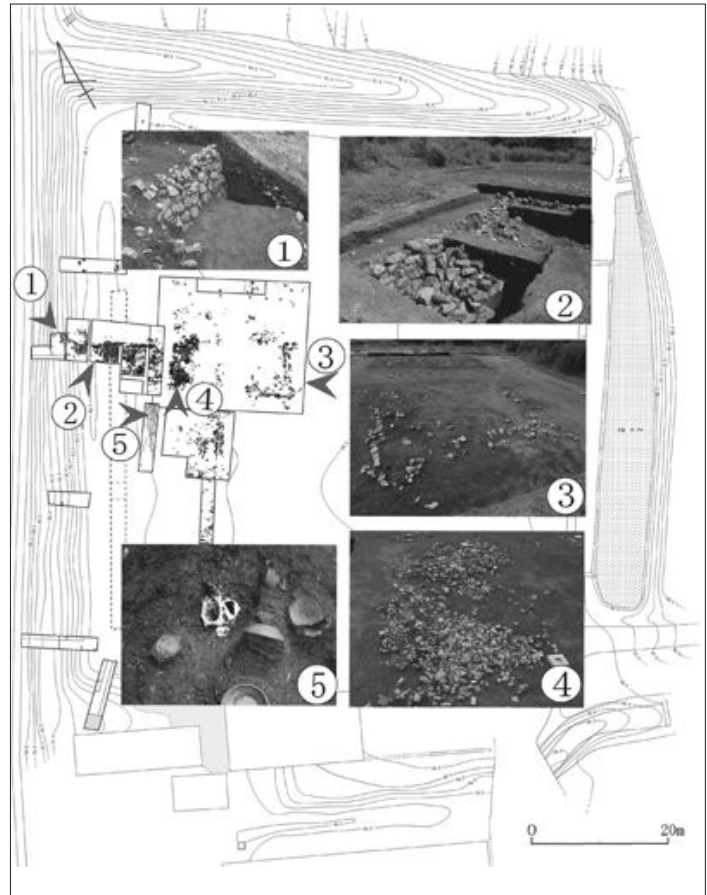


山麓には多様な城下遺構が…

西麓の隼人屋敷や御台所(おだいどころ)などの一部でこれまでに遺構確認調査を実施しています。隼人屋敷では本丸周辺よりも古い石垣と、これに直行する石積みを発見しました。破片を含めると9,000点を超えるカワラケ(素焼きの土器)も出土しています。御台所では建物施設の基礎に関連した石列や、庭園に用いられる飛石の可能性を有した平石を確認しました。また、御台所周辺を巡る大規模な堀と土塁の一部でも調査を実施しています。これらの調査結果から、多様な城下遺構が確認されています。



隼人屋敷からは大きさや形、内面の仕上げ方など、多種多様なカワラケが出土しました。



隼人屋敷全測図

静岡大学名誉教授 小和田哲男さん来る！

平成26年1月より放送される予定のNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の時代考証をされる小和田さんが、国指定史跡化記念事業のプレ事業として、2月1日午後2時より文化会館で講演します。演題は「戦国の城の魅力と唐沢山城跡」です。申込など、詳細は平成26年1月1日号の広報でご案内します。

どうぞ、お楽しみにしてください。

市は国指定史跡化後も貴重な史跡を未来に伝えるための取り組みを継続していきます

■問合せ 生涯学習課
田沼庁舎本館2階 ☎(61)1174

